



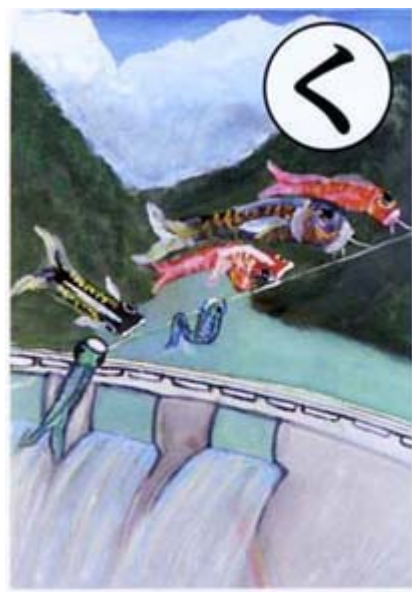
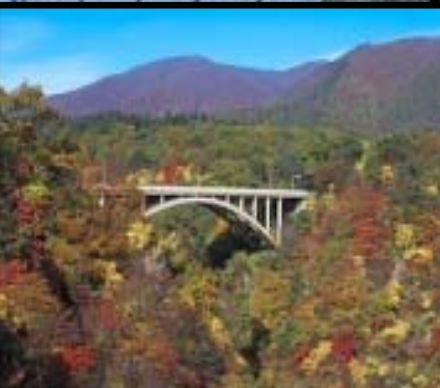
鳴子ダム水源地域ビジョン

第1回専門検討会資料

平成17年7月29日（金）



資料 - 3 鳴子ダム水源地域ビジョン骨子（案）



鳴子ダム

鯉のぼり舞う

薰風くんぷうに

日本人の手によって出来た国内最初のアーチ式ダム。昭和三十二年の完成以来、洪水の心配は全くなかった。観光スポットとしてもすばらしい。上流には『荒雄湖畔公園』が整備され、様々なイベントで賑わっている。

「薰風くんぷうに
鯉のぼり舞う 鳴子ダム」

鳴子ダム水源地域ビジョンに係る関連計画

項目	対象地域 (鳴子町関係)	基本方向・事業概要
宮城県総合計画 (平成12年3月策定)	宮城県大崎地方	<ul style="list-style-type: none"> ・県北西部の発展を牽引する中核都市圏の形成 ・広大な農地と交通基盤を生かした地域産業の振興 ・ゆとりと安らぎのある地域の創造総合保養地域の整備
大崎市新市建設計画 (平成17年1月策定)	新大崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・農林産業の振興 ・農産品の開発と販売力の強化 ・観光農林業・グリーンツーリズムの推進 ・体験型・滞在型の観光地づくり ・観光情報の発信
栗駒・船形リフレュリ ゾート - オアシス21構想 (平成2年3月)	鬼首地区、鳴子地 区、葉菜地区	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は、安らぎと健康を求める人々を優しく包み込む空間として自然、歴史、文化等多様な地域固有の資源を最大限に活用し、個性豊かな地域の活性化を図って いこうとするもの
スリー・ライン・ツイン・ ホットスプリングス構想整 備事業 (平成14年度地域連携支 援ソフト事業)	「宮城県」鳴子町、 仙台市、蔵王町 「山形県」最上町、 天童市、山形市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携支援ソフト事業は、全国総合開発計画「21世紀の国土のグランドデザイ ン」に掲げられている、「参加と連携」による国土づくり、地域づくりを効果的に推進 し、都道府県やブロックを超えた地域の活性化につながるものを中心に、地域連携 の促進に向けて、様々なソフト事業を実施・支援する
宮城・山形地域連携軸形 成事業 (平成12年3月推進会議 設立)	宮城県大崎地域、 山形県北村山、最 上地域	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県古川地方県事務所・山形県村山総合支庁・山形県最上総合支庁の3事務所 は、宮城県と山形県の県境に接する宮城県大崎地域並びに山形県北村山及び最 上地域における県境を越えた新しい連携のための方策を協議・実施し推進している
大崎市流の地域自治組 織 (大崎市新市建設計画： 平成17年1月策定)	新大崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自治的組織やまちづくり組織を基礎とし、行政に対する住民意見の反映 や地域課題の解決及び地域コミュニティ体制の確立など、住民と行政が協働・連携 した取り組みを実施するため、旧市町単位に(仮称)まちづくり協議会を設置する

鳴子ダム水源地域ビジョンの体系(意見の集約)

まちづくりの方針		「まちづくり」にいかせる資源		策定委員会での意見
		地域の資源など	地域での活動など	
地域を元気にする	地域づくりによる地域の活性化	鳴子町全域	鳴子温泉郷ツーリズム特区の指定 鳴子温泉郷湯めぐり手形	合併による地域間交流促進 広域観光上での戦略づくり 温泉をアピール 合併を契機に観光地間の連携 中下流とのかかわりや、つながり
		鳴子地区	街を歩けば下駄も鳴子	
		鬼首基幹集落センター	学校開放講座パソコン教室 ちびっこ料理教室	グランドデザインづくり 鬼首地区の活性化
			鬼首自然観察隊	川による連携・合併による連携
			仙台・名取在住の弦楽合奏団(ゲッゲロ・ソリスト)コンサート	連携・交流のキーワードと地域活動の立ち上げ
		鳴子町中央公民館(鳴子地区)	第2回グリーン・ツーリズムネットワークみやぎ鳴子大会 スローライフ週間「湯ったり湯ったり湯たかに」 交流人口拡大事業「Visitなこ」	連携・交流のキーワードと地域活動の立ち上げ
		鳴子町ヘルスセンター(鳴子地区)	鳴子ツーリズム講座(講演会)	
		国道108号		湖西道路(国道108号バイパス)の早期整備
	JR陸羽東線	イベント列車SL義経号		
	業おこしによる地域の活性化	鬼首基幹集落センター	曲げわっぱの特別展示、桶細工、つる細工 鬼そば道場蕎麦打ち体験	鬼首地区の活性化 地産地消で地域を活性化 旅館・ホテルとグリーンツーリズム活動の相互連携
		鬼首の里高原市場	農産物の直売	
		やまが旬の市	農産物の直売	
		国民宿舎鬼首ロッジ	農業体験「鬼首・鬼楽里」	
		JAIいわでやま鳴子りんどう部会の生産地 ほっとサロン(鳴子地区)	りんどう生産・出荷 一店逸品運動研究会「でっぺクラブ」	地域力の向上
	地域の施設を活用する	オニコウベスキー場・ゴンドラ・ゴルフ場	鳴子牛cowニバル スキースクール、蕎麦打ち体験など スノーフェスティバル	
		吹上高原キャンプ場		
		鬼首ペンション村		
		鬼首基幹集落センター	小学生の蕎麦栽培の収穫祭	
		鬼首中学校		廃校後の活用
		JR陸羽東線や国道108号		アクセス(サービス)の改善
地域の環境を活用する	荒雄湖畔公園	フィッシング・ジャンボリー・イン・オニコウベ あつまれ! 鳴子ダム キャンプ場や運動場など各種広場 ラジコンカーレース	利用しやすい公園に 活動の拠点づくり オートキャンプなど機能更新 冬季の活用(雪洞体験)	
	禿高原町営牧場			
	地域の水辺を活用する	江合川上流(鳴子ダム上流)	キャッチ&リリース(鳴子漁協) 発眼卵放流(鳴子漁協) 桜の植樹 江合川源流の碑	釣り人へのサービス向上 江合川の環境整備 (サイクリングロード整備など) 地域をよく知る
荒雄湖(ダム湖)			ダム湖・ダム堤体を眺望できるスポットの整備(湖西道路側からも)	

鳴子ダム水源地域ビジョンの体系(意見の集約)

まちづくりの方針		「まちづくりに」いかせる資源		策定委員会での意見
		地域の資源など	地域での活動など	
地域を学習する	地域をよく知り 地域力を高める	鬼首カルデラ地形		地域に誇りをもつ
		放射環状に流れる江合川上流		地域力の向上
		鬼首基幹集落センター	鬼首神楽講演活動	地域をよく知る
		鬼首中学校	江合川の水質調査	
		荒雄川神社・主馬神社	荒雄川神社祭典	
		鬼首番所跡・芭蕉句碑・大町桂月歌碑		
		山の神の石碑	石碑、鳥居の建立(なるこ未来創造会議)	
	鳴子ダム	鳴子ダム感謝の碑		
	ダムと自然・農業の役割を認識する	鳴子ダム	鳴子ダム見学	ダム利水と下流の水田の関係
	地域の文化を育てる	鳴子町特有の温泉資源を活用する	温泉(宮沢・吹上・轟)	
東鳴子温泉(川渡地区)			現代版湯治入門	温泉と健康の関係をアピール
地域の食文化の創出		鳴子温泉(鳴子地区)	温泉療養プラン 温泉客ら無農薬栽培体験	グリーンツーリズム、温泉医療もキーワードに 旅館と農業の関係づくり スキーと温泉における来訪者のニーズをつかむ
		鬼首そば生産組合	蕎麦打ち体験	美味しい蕎麦など地域の食文化の向上
		鳴子の風	地発砲酒の生産・販売	地産地消で地域を活性化
		江合川上流	鬼首の湧水 岩魚・山女など	来訪者に地元食材を提供する
ダムを共有の資産ととらえPRする		鳴子ダム	ダム見学	ダムの役割を再認識 川やダムのことを知る環境づくり 学校教育で展開、パンフ配布 スローライフ「夏編」
			すだれ放流	すだれ放流などのPR
			ダムアーチ構造	土木遺産に
			ダム展望台	ダム湖・ダム堤体を眺望できるスポットの整備(湖西道路側からも)
地域の環境を守る	水力や地熱発電などの環境を活用する	鬼首地熱発電所	地熱発電所PR館	水力・地熱発電など環境をテーマに展開
		鳴子発電所		
		片山地獄・地獄谷		
		間歇泉・吹上高原		
	豊かな自然環境の保全と森林資源の活用	自生山及び天然杉・巨木の森	あつまれ鳴子ダム! 巨木を営む森鳴子天杉	森林資源の再認識
		貴重な植物群落(片山地獄周辺など)		
		花淵山及び遊歩道・お花畑(シロヤシオ)		森林浴・トレッキングなどの環境整備
		オニコウベスキー場・ゴンドラ・ゴルフ場	大柴山トレッキング	
		花立峠・国見峠		
		荒雄岳及び外輪地形		自然林の復活
農村環境や農村の景観を守る	ふるさと緑の道(鳴子温泉～鬼首)			
	ふるさと緑の道(鬼首～鎌内)			
	鬼首地区など既存の地域や集落	スローライフ週間「湯ったり湯ったり湯たかに」	国道沿いの標識や看板などのサインを統一(色彩・形状など)	

鳴子ダム水源地域ビジョンの体系(意見の集約)

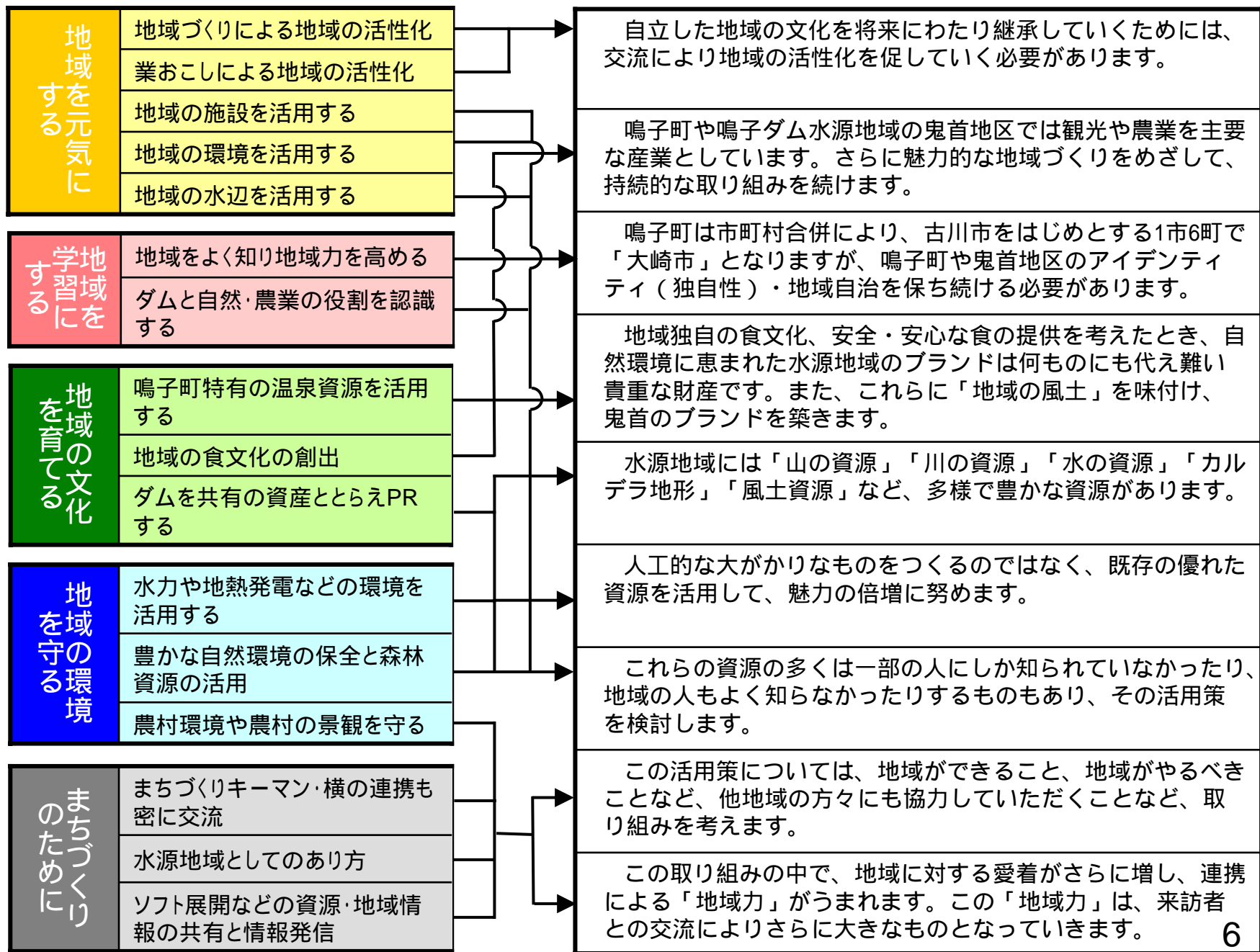
まちづくりの方針		「まちづくりに」いかせる資源 地域の資源など	策定委員会での意見
まちづくりのために	まちづくりキーマン・横の連携も密に交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴子町中山間地域活性化推進協議会 ・ 鳴子ツーリズム研究会 ・ 鳴子未来創造会議 ・ 石ノ梅まちづくり研究会 ・ 鳴子楽郷の会 ・ 東鳴子夢会議 ・ 縄文集団「鬼」 ・ カムロ企画 	<p>【合併を契機としたまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域間交流は合併後の「大崎市」が主体となるので、近隣地域へのPRが必要 ・ 合併後も、地域のよさを継承していくことが必要 ・ 情報発信では交流できない。人と人のうごきがあつての交流なので、そのための魅力づけをしていくことが必要 ・ 地域活動団体の連携を図り、一元的に推進してはどうか ・ 情報を共有するための定期的な活動や、町のコンシェルジュ(案内人)として、観光をはじめとする情報を提供していくことが必要 ・ 合併を契機に観光地間の連携も必要である ・ ビジョンづくりは、鳴子町がコアとなり、鳴子ダムと江合川流域とのつながりで、合併を契機に盛りたてていく <p>【ビジョン推進の組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンを推進していく組織作りが必要 <p>【下流地域などとの連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴子町内の地域活動や事業活動をうまく連携させ、将来の地域像を見すえ、鳴子町、大崎市、下流域と広がりを持たせるビジョンづくりが必要である ・ 鬼首 古川の交流(買い物なども含む)は多いが古川 鬼首の交流は少ないので、相互の交流をつくれないうるか ・ 水源地域(鳴子町)は地域活動や資源が豊富なことによりビジョンの方向性はみえてきたが、中下流とのかかわりや、つながりを示していくことが必要である。 ・ ダムがなかった時の状況を下流地域に説明する場を計画 <p>【地域活動の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リーダーに地域活動が委ねられている ・ 行動費の捻出(参加料からの運営) ・ 企画立案、プログラム展開、広報など、さまざま分野での連携のしくみがやや低い ・ インストラクターなど人材がなかなか集まらない <p>【参加のしくみづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方々地域活動に参加していく仕組みや体制をつくる ・ 旅館と農業(地元産物の食材化)などにより両者の関係をつくる ・ 来訪者との交流するスタイルを観光的な視点でとらえ、ものごとに取り組んでいく ・ 旅館・ホテルとグリーンツーリズム活動の相互連携が必要 ・ グリーンツーリズムのサービス提供と地域経済(地域がうるおう)の仕組みの検討 ・ ボランティア活動と事業活動の識別 ・ インストラクターなどを人材バンクに登録する ・ 地域の方々うまく情報を伝達する
	水源地域としてのあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳴子町への来訪者ばかりでなく、水源地域内外の大人から子どもまで楽しめるような仕組みづくりが必要 ・ 水源地域が主体で、地域の人が前向きに活動して地域をつくりあげていく ・ 廃校となる鬼首中学校を地域、教育、産業などをキーワードとする情報発信の場につなげる ・ 川やダムのことを知る環境づくり(川に親しむなど)を行う ・ 水源地域の自治や社会活動の維持。高齢化や過疎化への対応が必要である ・ 水、川、ダム、水源地域での生活など、本来の水源地域のあり方もビジョンに取り込んでいく 	

鳴子ダム水源地域ビジョンの体系 (意見の集約)

まちづくりの方針	「まちづくりに」いかせる資源 地域の資源など	策定委員会での意見
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まちづくりのために</p> <p>ソフト展開などの資源・地域情報の共有と情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回グリーン・ツーリズムネットワークみやぎ鳴子大会 ・スローライフ週間「湯ったり湯ったり湯たかに」 ・交流人口拡大事業「Visitなるこ」 ・鳴子ツーリズム講座(講演会) ・交流の達人(宮城県企画部)板垣幸寿氏、向田晃氏 ・体験交流型観光セミナー 	<p>【PR活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳴子町には、さまざまな資源や特色ある活動が行われているが、あまり知られていないようで、戦略的にPRしていく必要がある ・地域活動のPRについては継続的に情報発信を行い、情報が水源地域全体に定着するPR手法が必要 ・地域の人々が地域のセールスマンになるような意識づくりで取り組むことが必要 ・心あたたまるおもてなしでリピーターをつかまえる ・温泉のブランドではなく地域のイメージをウリにしてい
	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎・最上・雄勝の地域おこしを考えるリレーションポジウム ・食と観光シンポジウム ・スリーライン・ツイン・ホットスプリングス(宮城・山形観光推進協議会) ・農家ネット(地産地消) ・“鳴子ビート”による「よさこい」 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴子ダム水源地域ビジョンづくりを新聞やテレビ番組で報道してもらい、広くPRしていく ・来訪者へのサービスの維持が必要 ・商品化という引き出しを一杯持って、お客さんに約束したサービスを提供する 【情報ツールの整備】 ・インターネット各サイト間のリンクにより情報を共有して発信していく ・「水源地域ビジョン」というポータルサイトを作り総合的に情報を共有し発信する ・テレビ、新聞などさまざまなメディアでの情報発信する ・ツアーデスクや、コンシェルジュによるガイド案内 ・駅など主要地点からの情報発信する(構えがあるだけでは機能が低い) 【何をPR】 ・水源地域に降り積もった一握りの雪が川に流れダムに貯まる、そのような「水の循環」なども、実際に訪れて体感してもらう ・水源地域のもつ資源を「森林セラピー(医療療法)」などで活用し、自然の役割や機能を体感してもらう ・江合川上流でのブナの苗木の植林など地域環境の保全活動 ・鳴子町内の温泉街の回遊性(湯めぐり手形など)、観光協会が取り組んでいる温泉療養プランなど、鳴子ならではの特色をもった活動をPRしていき、地域の元気につなげていく ・食材を活用して鳴子ならではのブランドを展開。品質を保証する ・来訪者に地元食材を提供する 【誰に楽しんでもらうか】 ・地域内外の人、年齢層、趣向などに対応するプランづくりが必要(釣り、山菜採り、水遊びなどファミリー層がみんなで楽しめるようなもの) ・インターネットや各種情報媒体に頼らない人と人の交流も大事である。 【潜在資源をいかす】 ・スキーに行く(スキー主体)と温泉につかりスキーにも行ける(温泉主体)など来訪者のニーズをうまくつかむ ・ダムも地域活動も風土も資源であり、これらをうまく見せ、今の取り組みをふくらませていく ・“鳴子ビート”による「よさこい」などでの宣伝も連携につながっていく

鳴子ダム水源地域ビジョンの意見集約と基本理念メイキング

策定委員会の意見集約



鳴子ダム水源地域ビジョン の基本理念(案)

「^{ほうじょう}豊饒なる大崎の耕土をうるおす江合川のながれ、緑たゆとう自然、鬼首の文化・風土をいかし、多彩で魅力的な活動、地域内外との交流・連携により、環境に調和した持続的な水源地域のまちづくりをすすめる。」

(1) 地域を元気にする

水源地域ビジョンの目的は、水源地域を元気にしていくことです。新「大崎市」での「鳴子町」や「鬼首」地区のランドデザインをしっかりと見すえ、地域の人たちが中心になって「地域づくり」を進めていきます。このため、新「大崎市」の人たちや、江合川流域の人たちが「江合川」によってつながり、「交流」と「連携」で地域づくりを応援します。さらに既存の資源などをうまく活用して事業化を図り地域振興を進めていきます。

(2) 地域を学習にする

鳴子町には、自然環境、人文社会資源をはじめ、「地域らしさ」の資源が多数あります。地域に住む人たちが地域のことをよく知らないと、来訪者との交流もなかなか生まれません。総合学習など、地域内外の学習の場として、地域の資源を、長期的に、将来像を見すえながら活用していきます。

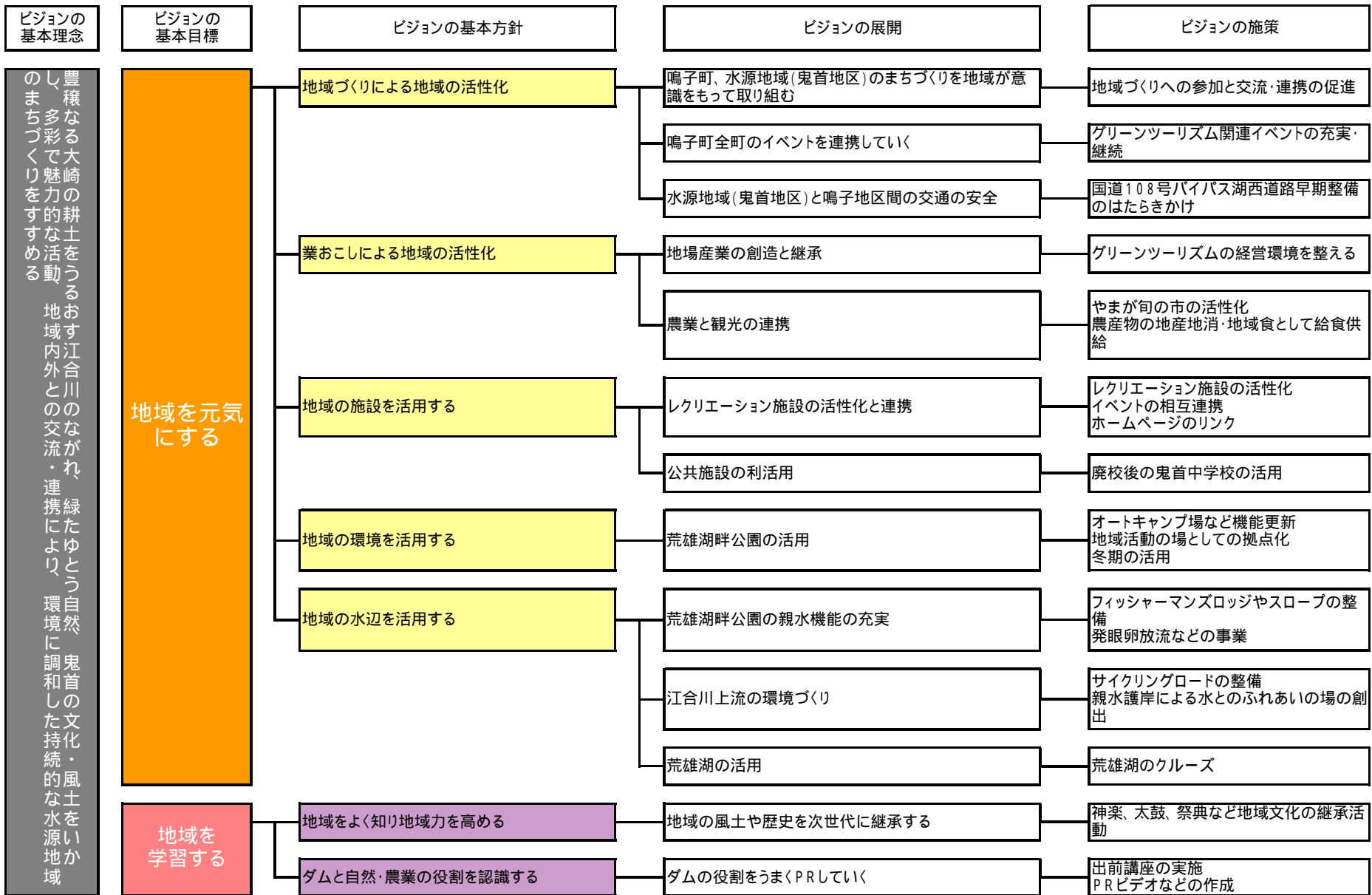
(3) 地域の文化を育てる

地域のひとたちが地域に誇りをもちながら、地域の代表者として地域づくりに取り組む必要があります。このため、これまで受け継がれてきた風土や文化をよく学びながら、地域の価値を高め、新たな文化の創造を進めていきます。

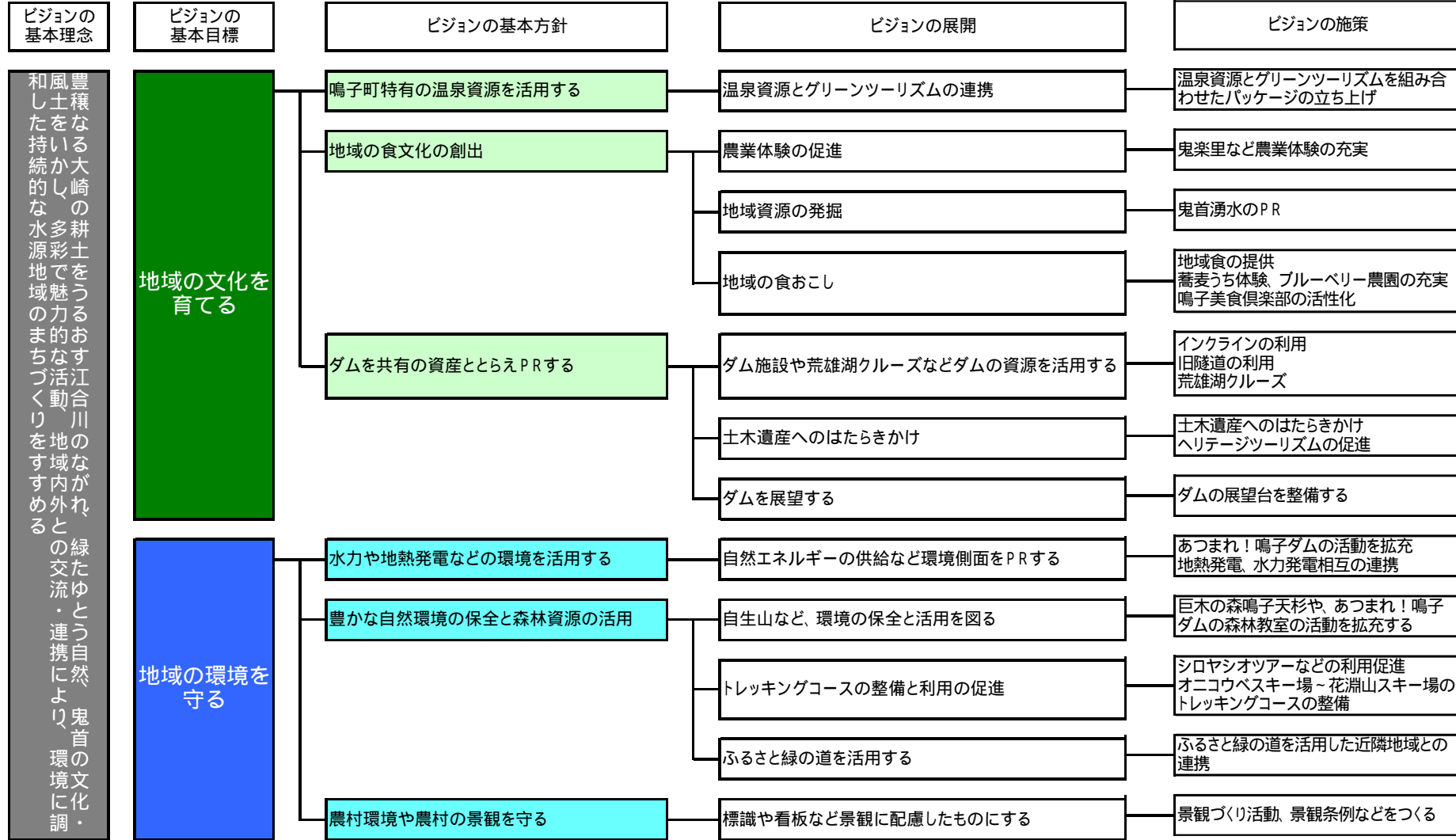
(4) 地域の環境を守る

鳴子町には、自生山の自然杉や鬼首カルデラ地形をはじめとする豊かな自然がたくさんあります。また、町営牧場、水田、畑地などの農地、鬼首地区をはじめとする農村集落など、現在の高い地域価値を維持・継承し、地域の環境を守っていきます。

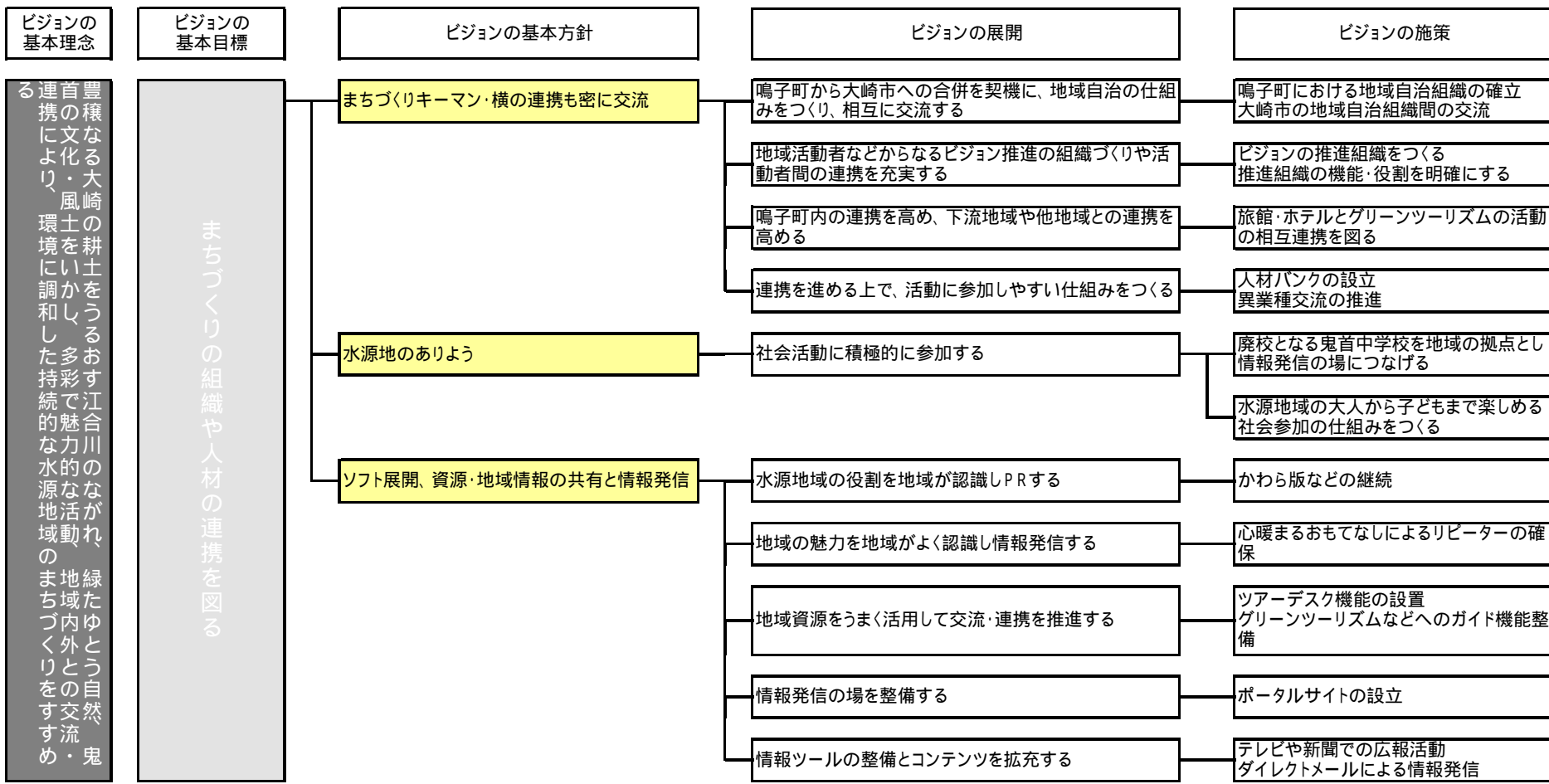
鳴子ダム水源地域ビジョンの基本理念・基本目標・基本施策(案)



鳴子ダム水源地域ビジョンの基本理念・基本目標・基本施策(案)



鳴子ダム水源地域ビジョンの基本理念・基本目標・基本施策(案)



鳴子ダム水源地域ビジョンの基本目標(案)

意見集約 + 理念メイキング

自立した地域の文化を将来にわたり継承していくためには、交流により地域の活性化を促していく必要があります。

鳴子町や鳴子ダム水源地域の鬼首地区では観光や農業を主要な産業としています。さらに魅力的な地域づくりをめざして、持続的な取り組みを続けます。

鳴子町は市町村合併により、古川市をはじめとする1市6町で「大崎市」となりますが、鳴子町や鬼首地区のアイデンティティ（独自性）・地域自治を保ち続ける必要があります。

地域独自の食文化、安全・安心な食の提供を考えたとき、自然環境に恵まれた水源地域のブランドは何ものにも代え難い貴重な財産です。また、これらに「地域の風土」を味付け、鬼首のブランドを築きます。

水源地域には「山の資源」「川の資源」「水の資源」「カルデラ地形」「風土資源」など、多様で豊かな資源があります。

人工的な大がかりなものをつくるのではなく、既存の優れた資源を活用して、魅力の増進に努めます。

これらの資源の多くは一部の人にしか知られていなかったり、地域の人もよく知らなかったりするものもあり、その活用策を検討します。

この活用策については、地域ができること、地域がやるべきことなど、他地域の方々にも協力していただくことなど、取り組みを考えます。

この取り組みの中で、地域に対する愛着がさらに増し、連携による「地域力」がうまれます。この「地域力」は、来訪者との交流によりさらに大きなものとなっていきます。

基本理念

「豊かな自然、鬼首の耕土をうるおす江合川のながれ、多彩で魅力的な活動、持続的な水源地域のまちづくりをすすめる。」

基本目標

減少傾向にある鬼首地域、鳴子町の人口をふまえ、交流による活力の創造を目指します。

観光入り込みや、旅行形態の変化をとらえ、交流の仕組みを創成します。

水源地域（鬼首地区や鳴子町）、古川市などの流域市町との連携を深めます。

水源地域（鬼首地区や鳴子町）で循環する産業の仕組みをつくり、郷土の風土や文化を継承し、広くPRします。

水源地域（鬼首地区や鳴子町）が有する優れた自然環境や風土などをいかします。

大がかりなものを新たに造るのではなく「今」あるものを使います。

資源を「いかす」「つかう」に、工夫します。地域でその工夫づくりに取り組みます。

取り組みにより、交流が生まれ、地域コミュニティの醸成や、来訪者などとのネットワークが築かれます。

地域を元気にする

地域を学習する

地域の文化を育てる

地域の環境を守る